

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード		133306																																													
事務事業名		通訳業務																																													
担当部局・課		市民部 国際・平和課																																													
事業内容		姉妹・友好都市交流事業に係る通訳業務、及び日本語が不自由な外国人市民が、市立病院や市役所内での用件をスムーズに処理できるよう、英語と中国語については、職員で対応し、他の言語においてもボランティアを活用し通訳する。																																													
この事業の上位施策		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">これから5年間のまちづくりプラン</td> <td>視点</td> <td>支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現</td> </tr> <tr> <td>項目</td> <td>きめ細かな地域福祉の推進</td> </tr> <tr> <td>施策</td> <td>多文化共生のまちづくりの推進</td> </tr> </table> <p>⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。</p>		これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現	項目	きめ細かな地域福祉の推進	施策	多文化共生のまちづくりの推進																																					
これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現																																													
	項目	きめ細かな地域福祉の推進																																													
	施策	多文化共生のまちづくりの推進																																													
事業の目的		伊丹市の推進する国際交流事業、並びに地域の国際化の進展や改正入管法などによる要因で、外国人市民の増加により、市役所業務においても、日本語が通じないためのトラブルが発生することを防ぎ業務を円滑に進めるため。																																													
事業費等の概算		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">平成17年度(決算)</th> <th colspan="2">平成18年度(予算)</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費</td> <td colspan="2">財源内訳</td> <td rowspan="4">事業費</td> <td colspan="2">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>国・県補助金等</td> <td>—</td> <td>国・県補助金等</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>—</td> <td>市債</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>その他(使用料等)</td> <td>—</td> <td>その他(使用料等)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>一般財源(市税等)</td> <td>—</td> <td>一般財源(市税等)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>投入人員</td> <td>0.10人</td> <td>⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)</td> <td>投入人員</td> <td>0.10人</td> <td>⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>857千円</td> <td>⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。</td> <td>人件費</td> <td>857千円</td> <td>⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。</td> </tr> <tr> <td>経費合計</td> <td colspan="2">857千円</td> <td>経費合計</td> <td colspan="2">857千円</td> </tr> </table>		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)		事業費	財源内訳		事業費	財源内訳		国・県補助金等	—	国・県補助金等	—	市債	—	市債	—	その他(使用料等)	—	その他(使用料等)	—	一般財源(市税等)	—	一般財源(市税等)	—	投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	経費合計	857千円		経費合計	857千円	
平成17年度(決算)		平成18年度(予算)																																													
事業費	財源内訳		事業費	財源内訳																																											
	国・県補助金等	—		国・県補助金等	—																																										
	市債	—		市債	—																																										
	その他(使用料等)	—		その他(使用料等)	—																																										
一般財源(市税等)	—	一般財源(市税等)	—																																												
投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	投入人員	0.10人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)																																										
人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	人件費	857千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。																																										
経費合計	857千円		経費合計	857千円																																											
活動指標		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">指標名(単位)</td> <td>対応言語数(ヶ国語)</td> <td rowspan="3">計画と実績</td> <td>年度</td> <td>H17年度</td> <td>H18年度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">意味・算式等</td> <td>出来るだけ多くの言語に対応できるべく通訳ボランティアを探す。</td> <td>区分</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>計画値</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実績値</td> <td>3</td> <td></td> </tr> </table>		指標名(単位)	対応言語数(ヶ国語)	計画と実績	年度	H17年度	H18年度	意味・算式等	出来るだけ多くの言語に対応できるべく通訳ボランティアを探す。	区分				計画値	3	3			実績値	3																									
指標名(単位)	対応言語数(ヶ国語)	計画と実績	年度		H17年度		H18年度																																								
	意味・算式等		出来るだけ多くの言語に対応できるべく通訳ボランティアを探す。		区分																																										
				計画値	3	3																																									
		実績値	3																																												

評価結果	C
	上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。